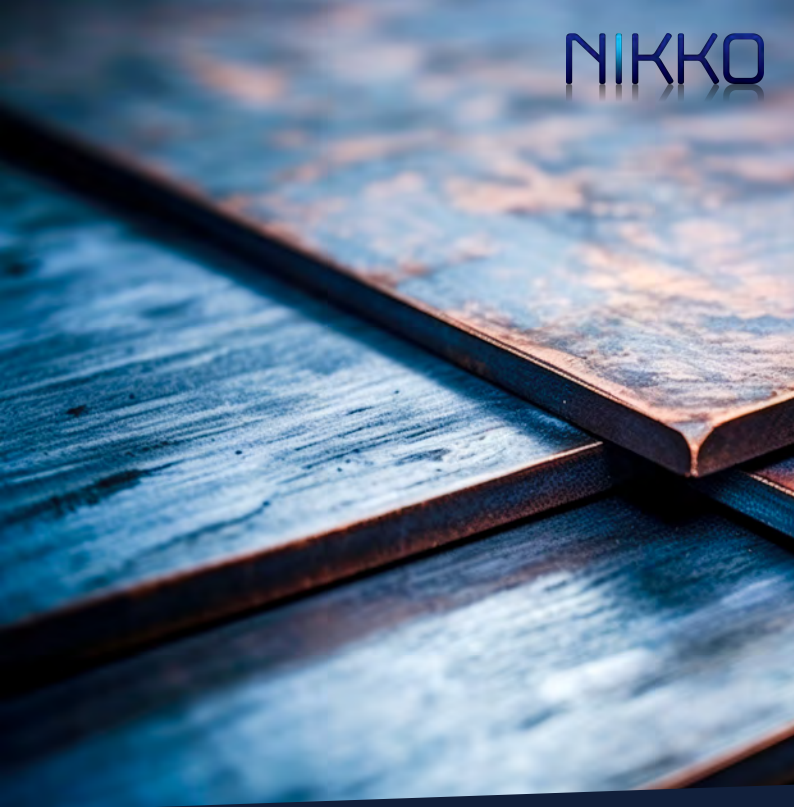
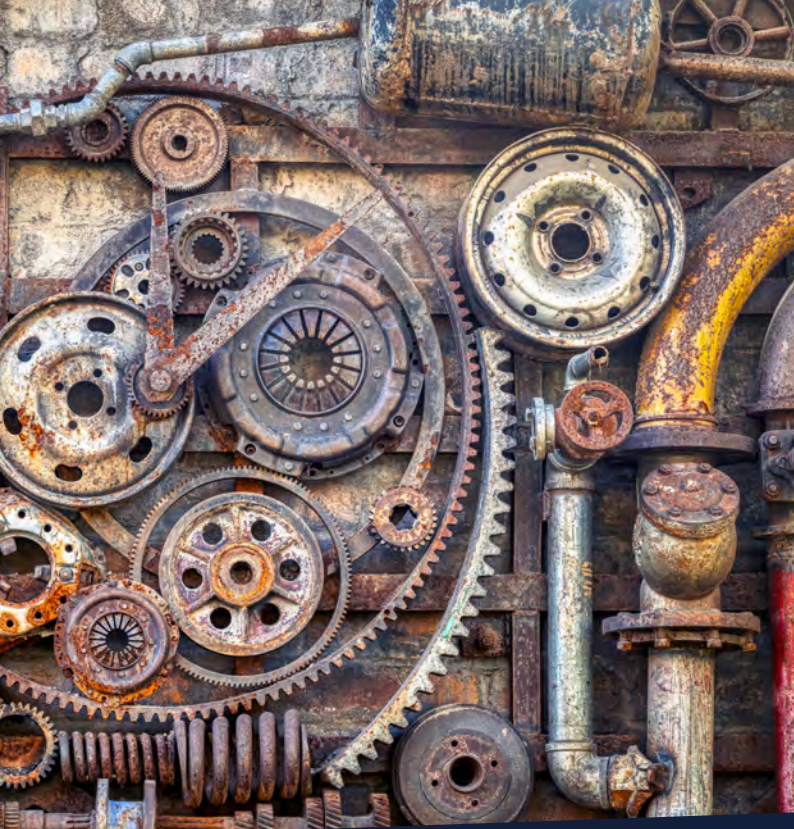




NK-100

水性さび安定化防錆処理剤

特徴 1

錆を不活性化

処理剤中の特殊なキレート樹脂成分が“さび”と反応結合し、錆を不活性化（安定化）し、強固な塗膜を形成。

特徴 2

エッジカバー性

処理剤中の成分が鉄（錆）をイオン化させ、その Fe イオンとキレート樹脂が直ちに反応結合する為、エッジカバー性に優れる。
（錆の凸部と優先的に結合。）

特徴 3

劣化因子侵入抑制

バリアー性の非常に高いポリシロキサンアクリル樹脂を主ビヒクルとして使用している為、腐食劣化因子の侵入を効果的に抑制。

特徴 4

効果の確認

NK-100 処理後、保護膜の形成とともに塗膜が黒変するので効果が確認できる。

特徴 5

安全性

水溶性である為、人体及び火気に対して安全。

塗り替え時期の鋼構造物には発錆部が多く、防錆処理には工数・費用がかかります。除錆が不十分なまま塗装すると、短期間で再び錆が発生することがあります。

「NK-100」は、軽度な下地処理（浮き錆除去）だけで使用でき、錆層に深く浸透し化学反応で錆を安定化させる防錆処理剤です。



株式会社日興

〒167-0043 東京都杉並区上荻 1-24-19

NK-100



☎ 03-3393-7641

✉ NK@nikko-gp.co.jp

🏠 <http://www.nikko-gp.co.jp>

NK-100

水性さび安定化防錆処理剤

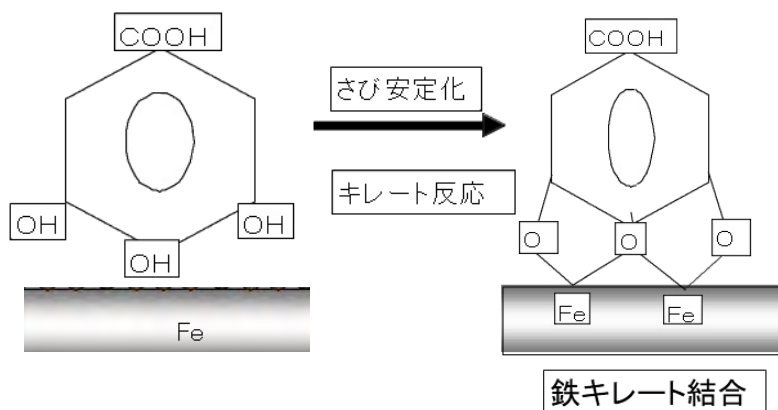
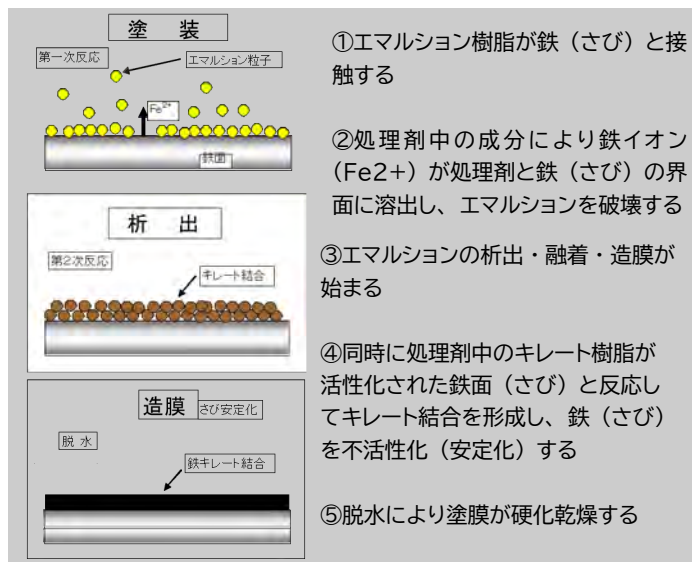
■塗料性状

外観	灰色液体
比重	1.15
粘度	90 秒 / フォードカップ
固形分	50%

■塗装仕様

推奨膜厚 (dry)	70μm 以上
標準塗布量	0.15~0.25kg/m ²
乾燥時間 (指触)	30 分 / 20℃
塗布間隔	4 時間 / 20℃

■さび安定化機構



■荷姿



■用途

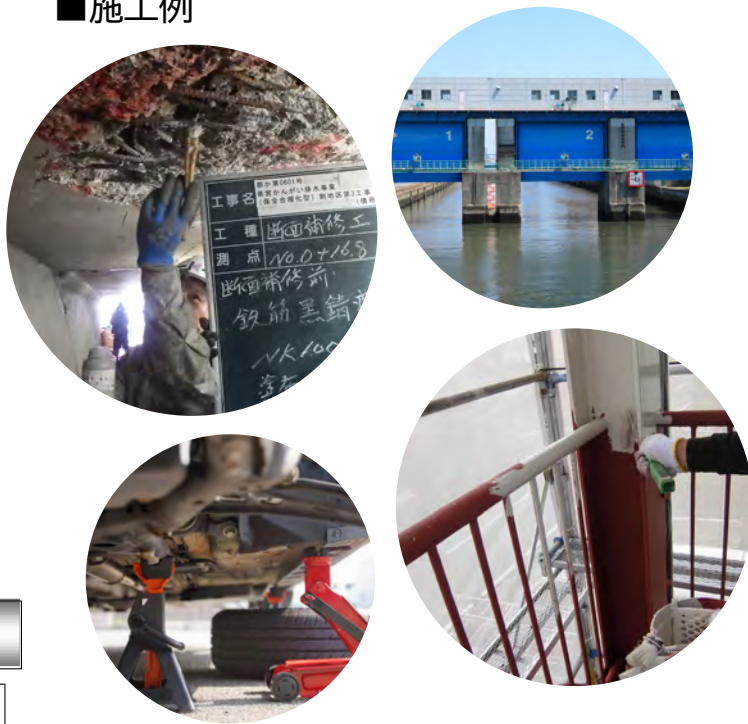
土木・建築鋼材補修全般

- ・コンクリート、PCM 内部鉄筋
- ・水門、堰
- ・鉄塔、電柱
- ・階段、手すり、駐車場鉄部

機械・車両鉄部全般

- ・自動車下廻りなど

■施工例



基本性能

①

NK-100

試験項目	試験条件	試験結果
付着性	クロスカット法	分類 0
耐衝撃性	デュポン式	30cm
耐カップング性	エリクセン値	10mm
耐水性	浸漬法 240 時間	異常なし
耐アルカリ性	5%—NaOH 溶液 点滴法	異常なし
耐酸性	5%—H ₂ SO ₄ 溶液 点滴法	異常なし

・耐塩水噴霧性 試験時間：1000 時間

試験結果：NK-100処理品の発錆は認められない。
未処理品では著しい腐食を確認した。

NK-100 処理

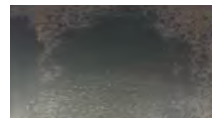


未処理



・屋外暴露耐候性 試験期間：1 年間

試験結果：NK-100 処理品の発錆は認められず、
割れ、はがれ、膨れはない。



NK-100 処理 試験開始時

試験 1 年後

②

塩水噴霧試験（モルタル） モルタル供試体 （内部鉄筋に NK-100 塗布）

塩分濃度：5% 試験時間：12000 時間

試験内容：貧配合モルタル（W/C=0.6S/C=2.5）、鉄筋被り厚さ 25mm
となるよう打設し、乾燥後に塩水噴霧試験を行った。なお供試体中央
試験結果：試験後の供試体を割裂し、鉄筋の発錆状況を確認した。
発錆は認められなかった。

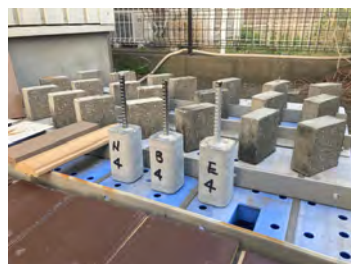


③

屋外暴露試験（モルタル） モルタル供試体 （内部鉄筋に NK-100 塗布）

暴露位置：埼玉県朝霞市郊外 試験期間：2 年間

試験内容：貧配合モルタル（W/C=0.6S/C=2.5）、鉄筋被り厚さ 25mm
となるよう打設し、乾燥後に屋外暴露試験を行った。
試験結果：2 年経過でモルタルに腐食ひび割れは発生しておらず、試験を継
続する。



④

塩水噴霧試験（鋼材上塗） 鋼材へ塗布後上塗り （NK-100+シールコート）

塩分濃度：5% 試験時間：6000 時間

試験内容：鋼板にNK-100 を下塗り後、シールコートプライマーおよびシー
ルコート 007R を塗布し、乾燥後に塩水噴霧試験を行った。なお供試体中央
から下部にカッターにて傷を入れ、供試体端部処理は敢えて実施していない。
試験結果：5000 時間までは発錆を認めない。7500 時間でカット部より一
部発錆を確認。12000 時間でカット部の発錆拡大および端部からの錆汁汚
染が著しくなったものの、一般部では発錆は認められない。

1000 時間経過

3000 時間経過

6000 時間経過

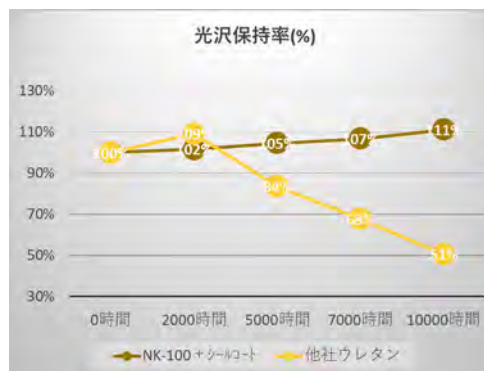


⑤

促進耐候性試験（鋼材上塗） 鋼材へ塗布後上塗り （NK-100+シールコート）

試験方法：キセノンランプ法 試験時間：12000 時間

試験内容：鋼板にNK-100 を下塗り後、シールコートプライマーおよびシー
ルコート 007R を塗布し、乾燥後に促進耐候性試験を行った。
試験結果：12000 時間で NK-100+シールコート処理の塗膜に大きな異常はなく、
光沢低下も認められなかった。

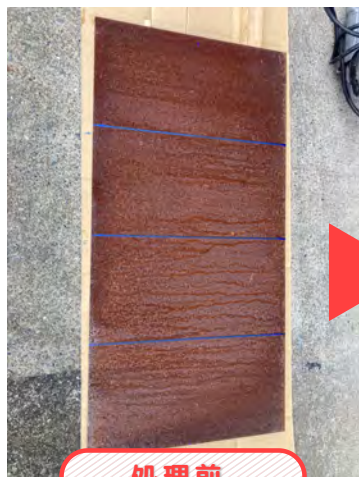


↑NK100+シールコート

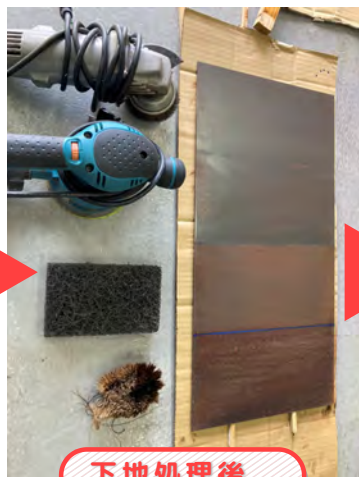
↓ウレタン



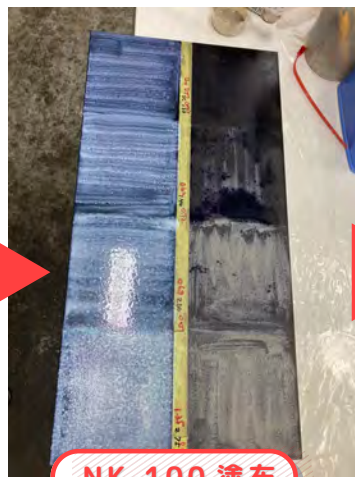
■各種下地処理後のさび安定化処理



処理前



下地処理後



NK-100 塗布



乾燥養生後

市販の鋼板を準備し、屋外に半年間暴露することで発錆鋼板とした。裏表面とも全体に赤い浮錆が発生している状況。

発錆鋼板を縦方向に 4 分割し、4 ケースの下地処理を実施した。上からグラインダー処理、サンドペーパー処理、マジックロン処理、タワシ処理。

更に横方向に 2 分割し、左の従来品との比較を行った。下地処理方法の違いにより塗布使用量は異なる。凹凸の少ないグラインダー処理で 0.15kg/㎡、凹凸が多いタワシ処理で 0.23kg となった。

下地処理方法の違いにより、黒変度合に若干の差はあるものの、一様に黒く変化しておりさびが安定化されていることを確認。

■施工方法

断面
修復

断面修復仕様

NK-100
USCP モルタル (PCM)

一般
防食

一般防食仕様

NK-100
シールコート

工程	塗料名	塗布量	備考
下地処理	3 種ケレン以上。油脂・塩分の除去		
さび安定化処理	NK-100	0.15~0.25kg/㎡	鉄筋へ刷毛塗り
断面修復処理	USCP モルタル	2200kg/㎡	金ゴテ仕上げ



工程	塗料名	塗布量	備考
下地処理	3 種ケレン以上。油脂・塩分の除去		
さび安定化処理	NK-100	0.15~0.25kg/㎡	刷毛、ローラー
中塗り	シールコートプライマー	0.25kg/㎡	刷毛、ローラー
上塗り	シールコート007R	0.20kg/㎡	刷毛、ローラー



簡易
防錆

簡易防錆仕様

NK-100 単体

工程	塗料名	塗布量	備考
下地処理	3 種ケレン以上。油脂・塩分の除去		
さび安定化処理	NK-100	0.15~0.25kg/㎡	刷毛、ローラー

* 重防食仕様を検討されている場合には以下仕様を推奨しております。
 ・NK ジンク+シールコート 007R ・NK さび安定化防錆工法
 * 施工については、施工要領書および SDS をご確認ください。
 * 仕様は予告なく変更する場合があります。

■施工代理店



株式会社日興

TEL.03-3393-7641

NK-100



〒167-0043 東京都杉並区上荻 1-24-19

✉ NK@nikko-gp.co.jp

🌐 <http://www.nikko-gp.co.jp>